

平成28年度議会報告会での質疑応答（概要）

（第1回）午前10時～11時30分の部

（第2回）午後1時～2時30分の部

（第3回）午後4時から5時30分の部

項番	質問・意見・要望	当日の回答	議会内の協議結果・執行機関への確認結果
1	<p>（第1回）上水道の料金体系について、最小使用料20㎡となっているが、もっと低くすべき。尼崎は、0㎡からの従量制。最小使用料以下の割合が34%占める。再考すべき。</p>	<p>○ 当局に確認する。</p>	<p>【上下水道部からの回答】</p> <p>○ 家庭用の芦屋市水道料金は、2か月20㎡までを基本料金とし、それ以上は1㎡毎に従量料金を加算しています。</p> <p>○ 尼崎市は、メーター口径毎の基本料金に加えて、0㎡からの従量料金で、本市とは料金制度が異なります。</p> <p>○ 2か月20㎡の平均で比較しますと、芦屋市が2,484円、尼崎市が2,505円、兵庫県内平均が2,868円、全国平均が3,202円です。</p> <p>○ 単身世帯の増加に伴い、基本使用量以下のご家庭が増えていることは認識しておりますが、水をつくる費用（給水原価）が1㎡あたり176円掛かっていることや、災害に備えた水道施設の耐震化の推進などから水道料金を低くすることは難しいと考えております。</p>
2	<p>（第1回）下水道の料金体系について、外の散水用の水は、排水溝に流れ、料金を課すのはおかしい。訴訟するので回答は結構。</p>	—	—

項番	質問・意見・要望	当日の回答	議会内の協議結果・執行機関への確認結果
3	(第1回) 介護保険料について、妻の母親、介護ベッドのリース料で、フランスベッド1400円/月を紹介された。コープでは、700円/月。なぜこうなったのか。	○ 当局に確認する。	【福祉部からの回答】 ○ 介護保険対応の福祉用具であるベッド(特殊寝台)のレンタル等については、医師の意見やサービス担当者会議等を経たケアマネジャーによるケアマネジメントを踏まえ、必要性を判断しております。 ○ 具体的なご本人の状況に応じてベッドが選択されていると考えますが、機能や付属品によっては価格が異なっておりますので、料金に差異が出る場合がありますことをご理解ください。
4	(第1回) 12月からルナ・ホールの改修に入りますが、バリアフリーにならないのか。	○ 当局に確認する。	【社会教育部からの回答】 ○ ルナ・ホールは、平成29年1月10日から5月末まで改修工事を行います。これは、舞台の吊物設備の更新など施設を保全するための工事であり、バリアフリーを目的としたものではありませんが、ホール客席部分を明るくし、館内の案内表示も改善する事で、より安全にご利用いただけるようにいたします。
5	(第1回) 屋外広告物条例は、どのように周知、浸透しているのか。	○ 実態調査をしながら進めている。	—
6	(第1回) 公立小学校に防災ボックスはあるが、県立芦屋高校や海技大学校の設置はどうなっているのか。	○ 当局に確認する。	【都市建設部からの回答】 ○ 夜間に発災した場合は、まずは、防災ボックスを設置している市立の小・中学校へ避難してくだ

項番	質問・意見・要望	当日の回答	議会内の協議結果・執行機関への確認結果
			<p>さい。</p> <p>○ その後、必要に応じて他の避難所を開設していく手順にしておりますので、現在のところ、県立芦屋高校や海技高等学校に防災ボックスを設置する予定はありませんが、迅速に避難所を開設していくための方法について、地域の皆さまや施設の管理者のご意見をお伺いしながら検証してまいります。</p>
7	<p>(第1回) 報告会で使用したパワーポイントを議会のホームページにアップしてほしい。</p>	<p>○ 議会内で協議し対応したい。</p>	<p>【議会内の協議結果】</p> <p>○ 下記についてホームページへ掲載します。</p> <p>〈〈当日配布資料〉〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・議会のあらまし <p>〈〈説明したパワーポイント〉〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会改革トピックス ・平成27年度決算概要
8	<p>(第1回) 議会報告会の日時設定は、平日だけでなく、土日など考えては。</p>	<p>○ これまで土日や夜間も開催したが、今回は、議会を直接みていただくため平日に設定した。</p>	<p>(今回のご意見等も踏まえ、今後のあり方について検討してまいります。)</p>
9	<p>(第1回) 政務活動費で、按分したり、上限決めている費目がある。規定をオープンにしてほしい。</p>	<p>○ ホームページに載せているが、改善していきたい。</p>	<p>(当日中に、HPのマニュアル掲載位置をページ上部に移動して更新しました。)</p>
10	<p>(第1回) 議員による口利きがあるのか、あるならオープンにしてほしい。</p>	<p>○ 記録している。検討したい。</p>	<p>【総務部からの回答】</p> <p>○ 職員が働きかけを受けたときは、「職員に対す</p>

項番	質問・意見・要望	当日の回答	議会内の協議結果・執行機関への確認結果
			る働きかけに関する取扱要綱」に基づき、記録票を作成し所属長に報告することになっていますが、現在のところ該当はありません。 ○ 情報公開につきましては、他の自治体の取組を参考に検討してまいります。
11	(第1回) 市役所のネガティブなことの追求だけでなく、良いことの発信を議会もしてほしい。		—
12	(第1回) グランピングの設置に関して、地域として議会に請願を提出したい。手続きを教えてください。		(終了直後にパンフレットをお渡ししました。)
13	(第2回) 政務活動費は事前に渡しておくのか？それとも議員がまず立て替えておき請求するのか？	○ 政務活動費は事前にいただき、使った分の領収書を添えて議会事務局へ提出している。勿論使われなかった分は返還している。	(芦屋市議会の政務活動費は、月額7万円/人、四半期ごとの交付になっています。)
14	(第2回) 昔は近畿で住んでみたい街・住みやすい街No. 1は芦屋市だった。最近では西宮市が1番になり芦屋市は4位や5位になっている。市長は芦屋市を日本一綺麗なまちに、と言っている割にどう反映されているのか？	○ 住んでみたい街ランキングの芦屋市急落については、ランキングの計算方法がこれまでの市単位での比較ではなく駅単位の比較計算となり、当然駅の少ない芦屋市のランキングが下がった結果となった。隣の西宮市とも切磋琢磨し住み良い街にしていきたい。	—
15	(第2回) JR芦屋駅ひとつとって見ても、快速急行は止まってもエスカレーターはない。このままでいいのか考えを聞きたい。	○ JR芦屋駅構内のエスカレーターは基本的にはJRに作ってもらわなければならない。国・県・芦屋市・JRで負担分が決まっている。JRが着手しないのは今計画中の駅南側の再開発	—

項番	質問・意見・要望	当日の回答	議会内の協議結果・執行機関への確認結果
		<p>の時期に合わせて検討する姿勢を取っている様子で、市としても北側のバリアフリーもそれに伴って進めていきたいと公言しているのもう少しお待ちいただきたい。</p>	
16	<p>(第2回) 2年ほど前、認知症の父が芦屋病院で入院していた。精神科がないせいで睡眠薬を処方され要介護5となった。</p>	<p>○ 個人的な見解を述べることは議会報告会にはそぐわないのでご理解を願う。</p>	—
17	<p>(第2回) 防災安全課をはじめとする、芦屋市には交渉力がない。これを恥だと思ってほしい。</p>		—
18	<p>(第2回) 奥池南町では水道のメーターが2つある。外にあるメーターは山水用で排水も下水管を使わず雨水側溝を使用しているにも関わらず、下水道料が発生している。市に言うと条例を盾に請求される。事実と反している条例は果たして有効なのか？</p>	<p>○ 現在芦屋市の下水道料金の請求金額算定方法は上水道を使った量に従って下水道料金を請求している。明確に下水処理がされない数値がはっきりしている場合には本件のような事案が課題になっている。今後議会としても解決方法を研究していく。</p>	—
19	<p>(第2回) 単年度のお金の使い方もさることながら長期的ビジョンに立ったお金の使い方は考えていると思うが、芦屋市がたてている5カ年計画の項目を教えてください。また、中期5カ年計画に議会としてどのように関与しているのか。議会の方からは提案はしているのか？</p>	<p>○ 中期5カ年計画の項目資料は手元がないので後程。計画に対しては議員全体で詰めて議論するという事はないが、同じ会派、議員同士が審査を通じて意見を出している。</p>	—
20	<p>(第2回) 世間を騒がせている芦屋の夢工房について、芦屋市も補助金を出していたと思うが議</p>	<p>○ もともと事業を展開していた姫路の保育所で不正が発覚した。姫路は中核市になるので芦屋</p>	—

項番	質問・意見・要望	当日の回答	議会内の協議結果・執行機関への確認結果
	<p>会は同法人の不正をチェックできる体制なのか？</p>	<p>市とは権限が違うので監査に入る。そして兵庫県も監査に入り不正が明るみに出た。この間県が第三者委員会を設け調査している。芦屋市としても監査に入っているところである。</p>	
21	<p>(第3回) 一般質問について「検討する」「調査する」という市の答弁に対して、質問者はその後チェックしているのか？市民にどう返しているのか？</p>	<p>○ 行政にはいろいろな課題を突きつけている。行政は関係部局と突き合わせて市長が答弁する。行政は実現するとはすぐには言わない。財政のこともあるので、国に関係のないものは市はやることがある。行政は、○○議員の質問で実現しますとは言わない。各議員はそれぞれ議会報告を出しているの、そちらをご覧ください。</p>	—
22	<p>(第3回) 決算報告は、財政を使ったチェックだ。それよりもどこに使うのか。若い人を呼び寄せるまち、住んでみたいまちなど大きな課題について検討すべきでは。芦屋は西宮より遅れていると思う。学校の報告があったが、東庁舎には、当初20億と言っていたのに25億、ポンとお金が出る。議員は市民ファーストで考えてほしい。子育てにお金が出るように。</p>	<p>○ 議員は様々な角度で頑張っている。</p>	—
23	<p>(第3回) 議員任期のズレの解消に対する現在の進捗状況は？</p>	<p>○ 西宮、神戸、兵庫県議会、芦屋市長と連携を取りながら進めている。先日も、国会と総務省に出かけ高市総務大臣に対し要請も行ってい</p>	<p>(第192回臨時国会中に衆議院議員提出議案となり、閉会中審査として処理されました。第193回通常国会で審議されることとなります。)</p>

項番	質問・意見・要望	当日の回答	議会内の協議結果・執行機関への確認結果
		<p>る。閣法は難しい様で議員立法による特例法として提出される予定である。</p>	
24	<p>(第3回) 南芦屋浜特別委員会の内容は？</p>	<p>○ 芦屋浜・南芦屋浜まちづくり調査特別委員会として、パイプライン施設、現在ミズノが利用している用地の活用、認定こども園などについて調査している。南芦屋浜における郵便局（ATM）の設置も市営住宅入居者使用料の口座引落しなど利便性の点からも審査している。</p>	—